

# 海外安全対策情報

【2023年1月～3月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

## 1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生しており、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春などの性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

## 2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意しながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華やかな服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

## 3. 事件・事故報道

### (1) 凶悪・粗暴事件関連

#### ア 息子の妻を包丁で襲った母親に懲役刑（済南市）

長清法院は近日、家庭内の矛盾から息子の妻に包丁で斬り掛かり、軽傷一級の怪我を負わせた母親に懲役1年9か月の判決を下した。母親王某は息子夫婦と同居していたが、息子の妻である劉氏と生活習慣の違いや性格の不一致から摩擦が生じていた。2021年8月2日夜、些細な事でケンカとなった王某は、包丁で劉某の頭部や左腕を斬り付け、右眼底や左頭頂骨等数か所を骨折させ、頭部の切創は累計26.1cmに及んだ。法院は、故意傷害罪であるが王某が自首しており、すでに治療費も支払っていることから法に基づいて情状を酌量した。

## イ 違法行為に対する恐喝行為（莱西市）

莱西市法院は近日、たとえ他人の違法行為に関する訴えが事実であっても、これを理由に利益を要求する行為は恐喝罪を構成するとの判決を下した。被告人王某は、某建材会社の車両が自宅付近を走行することによる騒音被害を同社に訴えていたが、さらに同社による過積載、スピード違反、騒音を関係部門に通報し、路上に通行妨害装置を設置するなどして、同社から石材 5,650 元相当と現金 6 万円を脅し取っていた。法院は、王某の行為が恐喝罪を構成するとし、懲役 1 年 5 か月、罰金 5,000 元の判決を下した。国家は、事実に基づく訴出や通報を支持しているが、これを手段として不当な利益を得る行為は、たとえ事実であっても恐喝罪を構成する。

## （2）窃盗事件関連

### ア 無施錠の車両から高級酒を窃盗（済南市）

済南市公安局千佛山派出所は 12 月 4 日、高級酒を盗んだとして自首した徐某（31 歳）を検挙した。被疑者の供述によれば、犯行当日深夜 2 時頃、誰もいないのに車内灯が点いている高級車を発見し、無施錠のドアを開けて中を物色した後、トランクから高級酒を盗んで逃げたが、怖くて自宅に帰ることも出来ず、家族から警察が来たとの連絡を受けて自首したという。警察は、被疑者の自宅を捜索し、2 万元相当の高級酒を押収するとともに、被疑者を刑事拘留とした。

### イ 拾ったスマホの微信から金銭を盗んだ事件（莱西市）

莱西市公安局店埠派出所は 1 月 3 日、スマホを拾って微信の財布機能から金銭を盗んだとして 2 人の男を検挙した。警察は、被害者が微信内の財布にあった 4,200 元が無くなったと訴えたことから金の流れを捜査し、入金先である張某（27 歳男）から聴取したところ、友人と 2 人でスマホを拾い、暗証番号を入力して 4,200 元を盗んだことを自供したという。被害者は、スマホ入りのバッグを亡失した際に、微信の暗証番号を記載した紙をスマホに挟んでいた。

### ウ スマホから SIM カードを盗難（青島市）

青島市城陽区の正陽路派出所は 2 月 9 日、他人のスマホから SIM カードを抜き取り、支払宝を計 12 回使用して 5,000 元以上を盗んだとして伍某（19 歳男）を逮捕した。被害者は事件当日、城陽区内の銭湯に入り午前 7 時に帰宅し仮眠した。午後 3 時頃、スマホがずっと圏外だったことから SIM カードが交換されていることに気付いたという。捜査によれば、伍某は銭湯で寝ている被害者からスマホを盗み、トイレで SIM カードを交換してスマホを元に戻すと、すぐに支払宝を登録して使用し、午後 3 時頃に SIM カードがロックされてから廃棄していた。

### エ 電子決済を装って走り去る窃盗事件（青島市）

青島市公安局海岸警察支隊上馬派出所は 3 月 22 日、スマホで代金を支払うよう見せかけ、タバコを盗んで走り去る手口で、2 月頃から 4 件合計 5,000 元相当のタバコを盗んでいた男 2 人を検挙した。被害に遭った店舗の 70 歳女性によれば、3 月 6 日午後 2 時頃、1 人の男が店に現れ、タバコを電子決済で購入したいと言ったことから、女性が腰を屈めて袋を取ろうとしたところ、男はタバコを持って一目散に走り去ったという。警察が捜査した結果、タバコを盗んだ男の他に店の外で見張りをしていた男もいることを突き止め、工事現場アルバイトの周某と孫某

## 海外安全対策情報

を検挙した。2人は、老人が1人で営業する小型店舗を狙い、孫某が買い物客を装って店員の注意を惹きつけたり、外で見張りや周某と通話をして店員に買い物客だと信じ込ませ、周某が商品を持って走り去る手口で犯行を行っており、現在窃盗の疑いで刑事拘留されている。

### (3) 詐欺事件関連

#### ア 不審なショートメールに注意（青島市）

青島市在住の男性は近日、自身のスマホにショートメールで“ETCには電子発票の開設が必要です。未開設の場合使用停止となります。”とのメッセージを受信したことから、同メッセージに添付されたリンクから各種個人情報を入力した結果、クレジットカードから約1万元が盗まれる事件が発生した。青島市反詐欺センターによれば、ショートメールのリンク先が正規の公式サイトに見えたとしても、詐欺犯が作成したフィッシングサイトである可能性があるため、身分証番号や銀行のカード番号等を入力してしまえば銀行口座のお金を盗まれてしまう可能性がある。また、詐欺犯は“期日までに処理”や“永久に使用停止”等のメッセージを使って相手を焦らせ、騙すのが手口であるので注意が必要である。

#### イ 占い師詐欺グループの検挙（済南市）

済南市公安局刑事支隊は3月3日、済南市内の大病院周辺で“占い師”を演じ、100件余りの詐欺で13万元以上を騙し取ったグループ7人を検挙した。被疑者らの供述によれば、通常午前6時から12時頃に大病院周辺に集まり、それぞれが聴覚障害の占い師・通訳・見張り・サクラ等を演じ、木の棒に取り付けた鈴が前後にどう動くか占い、災いがあると言って信じた客には災いを消す“お守り”や“”を売りつける。多くは一つ660元から990元を微信の電子決済で払わせていたが、2,900元で売ったものもあったという。今年の春節以降、詐欺被害の通報が多数入っていた。

#### ウ 私的な為替取引に注意（青島市）

城陽区在住の姜女は3月11日、オーストラリア留学中の娘にアパートを購入するため、大金を豪ドルに両替してくれる人物の紹介を受けて45万元を振り込んだところ、騙し取られたと交番に訴えた。同女によれば、銀行では少額しか両替できなかったことから、娘の友人から紹介を受けた相手と45万人民元を10万豪ドルに両替してもらう約束をし、念のため娘と相手が同席する形で2回に分けて振り込んだが、相手は金が来ないと言って立ち去ってしまい、電話も繋がらなくなったという。連絡を受けた青島市反詐欺センターは、すぐに口座を凍結して振込先であるオーストラリア在住の朱氏を突き止めたが、彼もまた為替仲介業者に騙され45万元の両替として9万豪ドルを犯人に振り込む直前であった。警察は朱氏に事実を伝え、45万元を姜女に戻した。

### (4) 風俗犯関連

#### ア 巨大ネット売春グループの摘発（淄博市）

淄博市公安局は近日、2021年8月から昨年4月にかけて、売春行為により300万元以上の利益を得ていた巨大ネット売春グループを摘発し、被疑者22人を刑事拘留、QQや微信の関連グループチャット300余りを閉鎖、4名をネット情報の不正利用で逮捕して、昨年11月までに70余名の売春婦や買春客を治安拘留とした。昨年1月、同局永安派出所の警察官がQQや微信で売春広告を出す人物を発見

## 海外安全対策情報

---

し捜査した結果、オンライン接客、経営、売春婦、運転手、売春婦募集等の役割区分が明確化された巨大な売春グループが浮かび上がった。淄博市駅付近のホテルを借りて売春アジトを設置し、QQ や微信で広告を出すとともに売春婦を組織で統一管理するなど、厳格な売春婦管理組織を形成していたという。

### (5) 交通・事故関連

#### ア 嶗山登山客を救助（青島市）

青島赤十字救助隊は3月20日17時4分、嶗山景観地区において登山客が怪我をして動けなくなっているとの通報を受け、現場に急行した。17時57分に右膝関節が外れた疑いのある要救助者1名を発見したことから、救助隊は同人を担架に乗せて6人1組で下山し、18時53分、医務員へ引き渡すことに成功した。要救助者は20歳前後の男性で、友人と嶗山に遊びに来ていたところ、誤って転倒し怪我をしてしまったという。

#### イ 免許取得直後に飲酒運転（済南市）

済南交通警察は3月31日14時頃、飲酒運転の取締りを実施中、1台のバイクが逃げるように住宅地に入ったのを発見し、男の身柄を確保して呼気検査を行った結果、飲酒運転が発覚した。取締りを受けた男はその日、C1運転免許試験に合格したばかりで、友人との合格祝いで2杯のビールを飲み、バイクで帰宅途中に取締りを受けたという。道交法第91条1項により罰金1,000元及び減点12点の処分となったが、同時に「自動車運転免許申請及び使用規定」第80条が実習中の違反行為による減点が12点に達した場合は資格を取り消すと規定しているため、男はC1免許、バイクのE免許ともに取り消されることとなった。

### (6) その他

#### ア 爆竹等無許可販売の取締り（平度市）

平度市公安局仁兆派出所は1月1日午後、花火や爆竹を不法に販売している者がいるとの通報を受け、現場で江容疑者を検挙するとともに、爆竹2万発余りと花火3,000発余りを押収した。江容疑者は、無許可で爆竹と花火を販売し、危険物を輸送したとして治安管理处罰法に基づき行政拘留5日間の処分を受けている。春節は花火や爆竹の需要が増す時季であるが、警察は市民に対し、これらを不法に作成し、保管、輸送、販売することの危険性を認識し、安全な管理に協力するよう呼びかけている。

#### イ 税関への虚偽申告取締り（青島市）

青島税関密輸局は近日、楽器専門の密輸取締りを実施し、ギター等2.1億元相当の密輸入により8人を逮捕した。犯人らは、数十社のペーパーカンパニーを荷主として、海外からブランド品のギターや音響等の音楽器材を天津港から輸入していたが、税関には実価格の10%~30%で申告していた。これを全国各地にネットや店頭で販売していたが、山東省の某楽器店が通関価格の異常を発見して通報したことで事件が発覚した。青島税関密輸局は、杭州、北京、天津、棗庄等各地に50余名の捜査員を動員して8人を逮捕し、現在は刑事強制措置を執っている。

#### ウ 国際赤手配中の元煙台市公路局長が自首帰国

2月12日、中央反腐败協調小組国際手配弁公室の協力の下、山東省追逃弁及び煙台市紀律検査監察機関の弛まぬ努力により、国際赤手配中の王東生が自首帰国

した。王東生は、元煙台市公路局党委書記、局長であり、収賄の容疑で2014年5月に国外逃亡し、2016年4月にICPOにより赤手配となっていた。

### エ 元省副主任に無期懲役判決（山東省）

南京市中級人民法院は2月20日、張新起・元山東省人大常務委員会副主任による収賄事件の公開判決を行い、無期懲役、政治権利の終身剥奪、個人財産全没収の上犯罪収益を追徴し国庫納入とした。被告人は判決に従い上訴しなかった。法院審理によれば、被告人は2001～2019年の間、濰坊市長や青島市長、省副主任等の地位を利用して関連企業や個人に便宜を図り、2006～2021年の間、受け取った賄賂は1.55億元を超えるという。

## 4. 治安対策等報道

### (1) 統計

#### ア 青島市人民検察院の活動報告（青島市）

青島市人民検察院の段連才検察長は2022年12月30日、1月～11月間の活動報告を行い、山東省検察院の87項目にわたる検察業務評価指標のうち、61項目で青島市が1位となり、総合成績も1位であったなどの発表を行った（詳細は以下のとおり）。

- 経済秩序を破壊したとして902人を処分。詐取されたハイテク企業補助金1,500万元を追徴して知的財産権侵害者110人を起訴、6,780万元の損失を回復。
- 企業及び経営者の合法権益を侵害したとして247人を処分。企業の民事行政監督に関する案件は、34件の和解を促し、40件を処理。3,626万元の損失を回復し、3,700人の就業を安定させた。
- マネーロンダリング、金融詐欺等で399人を処分。環境資源破壊者114人を処分し、生態系修復費用4,000万元を追徴、耕地や湿地等200畝を修復。
- 刑事犯は9,055人を起訴して2,422人を逮捕（そのうち、重大暴力犯914人、常習財産犯1,270人、防疫関連犯13人、マフィア関連犯34人）。
- 公衆預金の持ち出しや市場操作等の案件314件を処理。
- 食品・薬品の安全に危害を与えたとして81人を処分、32の無許可業者を廃業させ、22人を就業禁止とした。
- 両級（市・区）公安機関に捜査監督弁公室を設置し、1,043件の違法捜査活動を是正（36%増）、218件を立件（41%増）して606人を追加で逮捕訴追（23%増）した。監査委員会から移送された職業犯罪者95人を審査起訴した（うち、庁級幹部4人、処級患部17人）。
- 未成年に対する犯罪により200人を処分。未成年犯罪者は81人を起訴、207人を不起訴とし、189人を復学または就職させた。

#### イ 青島市人民法院の活動報告（青島市）

青島市中級人民法院の張正智院長は2022年12月30日、同年中の全市法院における受理事件数が23.6万件、処理数が22.8万件で、全省トップであったなどの活動報告を行った（詳細は以下のとおり）。

- 経済発展推進のため、経済関連の争訟7.4万件を解決し、知的財産権侵害案件4,333件を処理。ハイアール集団への多数企業による商標権侵害及び中傷事件では、中級法院が侵害停止と950万元の損害賠償を命じた。金融関係の争訟4.3万件を処理。

## 海外安全対策情報

- 破産事件 115 件を処理し、企業を救う“青島モデル”を創設。海上嘉年華公司の破産整理では、黄島法院が協力して国有優良プラットホームを引き入れ、企業債務 74 億元を解決して 300 社近くの会社経営を持続させた。
- 刑事事件 7,985 件を処理し、1.1 万人を処分。マフィア関連では陳浩、張新海、劉世星らの犯罪 12 件を処理し 144 人を処分、2,348.6 万円の犯罪資金を処理した。高齢者を狙った詐欺では、32 件を処理し 162 人を処分した。被害額は 2.1 億元に上り、法院は司法アドバイスを 26 回発出したほか、33 回の法律普及活動を行うなどして最高法院の表彰を受けた。
- 全省唯一の“人民法院証券先物犯罪審判基地”として、市場操作等 314 の事件を処理。70 億元にも上る劉錦燁や高宗一らの証券市場操作事件では、被疑者らに 2~7 年の有期懲役と 10~2,800 万円の罰金を併科し、証券市場の安全を守った。
- 教育、就業、医療、養老等の争訟事件を 4.2 万件処理し、市民生活に貢献した。

### ウ 山東省人民検察院の活動報告

山東省人民検察院の顧雪飛検察長代理は 1 月 15 日、過去 5 年間で 954,569 件の事案を処理し、2022 年の全国検察機関 56 項目評価指標のうち、31 項目で 10 位以内、20 項目で 5 位以内、9 項目で 1 位であったなどの活動報告を行った（詳細は以下のとおり）。

- 各種刑事事件の被疑者 479,832 人を起訴、154,402 人を逮捕。  
（※ 昨年報道では、2021 年の総起訴数は 103,402 人、被逮捕者は 29,004 人）  
重罪事件の比率は 2017 年の 6.8%から 2022 年は 4.1%まで減少
- マフィア関係者 5,400 人を逮捕、事案処理中に保護傘（後ろ盾）のてがかりを 867 発見し、24.1 億元の暴力団資金を押収。
- 刑事事件の罪を認めれば寛大に処分する制度を推進し、94.3%の被疑者が起訴段階で罪を認め、一審判決の 97.7%が上訴されていない。
- 金融管理秩序破壊犯、金融詐欺犯を 13,701 人、マネーロンダリング犯 349 人、犯罪に使用される各種カード取締り（断カード行動）により 10,800 人を起訴。
- 電信ネット詐欺、マルチ商法、個人情報窃取犯 26,975 人を起訴、高齢者を狙った詐欺を撲滅し、7.5 億元を回収。

### エ 山東省高級人民法院の活動報告

山東省高級人民法院の張甲天院長は 1 月 15 日、過去 5 年間の殺人・放火・強盗等の暴力犯罪の一審判決処理数が、前期 5 年間と比較して 30.1%減少したこと、また青島法院が江秋蓮の事件を公正に裁き、生命権の重要性を示したなどの活動報告を行った。（詳細は以下のとおり）。

- 5 年間で 959.2 万件を受理、966.1 万件を処理。  
（昨年報道では、2021 年の受理件数は 193 万件、処理数は 185.9 万件）
- 一審判決処理数は刑事事件が 37 万件、行政事件が 11.7 万件、殺人等暴力事件は 1.8 万件で前期 5 年間と比較して 30.1%減少。薬物事件は 8,010 件で同 53.4%減少。マフィア関連事件は 228 件 2,602 人、犯罪グループ事件は 1,336 件 8,195 人を処理。
- 収賄や職権乱用等の職業犯罪 4,286 件 5,359 人を一審判決処理。うち元省部級幹部 10 人、元庁局級幹部 88 人。併せて贈賄やあっせん 316 件 499 人を一審判決処理し、同関連者で海外逃亡した事件 10 件を処理。
- 民事商事事件 467.8 万件を一審判決処理（6.6%減少）。就業、教育、医療、

## 海外安全対策情報

介護、社会保障等の民生案件 142.2 万件を処理。国家賠償案件を 1,729 件処理し、6,787.5 万元の賠償を決定、2.4 億元の救助金を拠出。

### オ 電信ネット詐欺事件発生数が半減（山東省）

山東省の電信ネット詐欺事件の発生数は前年比 50.4%減少し、損失も 41.2%減少した。“国家反詐欺センター”のアプリ登録数は 6,759 万人、66.6%に及ぶ。

### カ 青島社会救援隊の実績（青島市）

青島市应急管理局に対する 1 月 16 日の取材によれば、全市に 40 個の救援隊と 3,000 人近い隊員が存在し、規模や救援能力は全国有数である。2022 年は 6,158 回の救援活動に延べ 49,000 人余りが参加したほか、山や海の緊急救援に 376 回出動し、422 名を救助したという。

### キ 青島税関が 2022 年内に密輸事件 252 件を摘発（青島市）

青島税関密輸取締局は 2022 年、252 件（前年比 27.14%増、至上最多）の密輸や脱税事件を摘発し、事件総額は 26.55 億元、脱税額 3.98 億元となった。行政事件としては 2,722 件（前年比 7.8%増）を立件し、事件総額は 43.56 億元、脱税額 2.61 億元であった。夏季“百日行動”取締りでは、28 件の銃密輸事件を摘発し、空気銃 25 丁、弾丸 2,821 発、銃器部品 500 個、銃器製造具 100 セット余りを押収、銃器製造アジト 5 か所を摘発したことで公安部十大事例に数えられた。

薬物密輸事件は、48 件（前年比 50%増）を摘発し、トリアゾールやゾルピデム（睡眠導入剤）等の薬品 1 万錠余りを押収したほか、“三無（製品名・生産地・成分の未表記）”を取締り、禁止成分を含むダイエット薬品 57.64 万錠 269 キロを押収した。輸入時の虚偽申告は、121 件を摘発し、事件総額は 24.34 億元、脱税額 3.57 億元。輸出不申告は、217 件を摘発し、事件総額 1.12 億元。検査を避ける目的で商品名を偽った事件 10 件を摘発し、化学肥料 3 万トンの事件は全国最大の肥料密輸事件であった。

## （2）各種対策

### ア 道交法違反通報奨励法に対する意見公募（済南市）

済南市政府は近日、「済南市道路交通法違反行為通報奨励法（通報奨励法）」の修正案を公開し、1 月 30 日まで意見を公募する。同法が 2020 年 1 月 16 日に施行されて以来、合わせて 5.06 万人が 60.51 万件の通報を行い、22.35 万件が処分されている。通報者は、済南交通警察の微博、微信、泉城行+アプリ、インターネットや 122 番通報により違反行為を通報できる。注意すべき点として、通報者は違反者の車両タイプ、ナンバー、違反時間と場所、違反事実及び違反と判断した証拠を提供し、通報者の人定も提供する必要がある。修正案は、一般道の違反行為 11 項目を 16 項目に拡大し、「高速道路の緊急車線使用 30 元」、「都市快速道路でバック・逆行・U ターン 50 元」、「シートベルト着用義務違反 5 元」、「走行中に物の投てき 50 元」等が含まれる。重大違反行為は 14 項目あり、最高奨励金は 1,000 元となる。なお、同一の違反者に対する通報の累計奨励限度額が 1,000 元から 500 元に、同一の通報者による毎月の累計奨励限度額は 3,000 元から 1,000 に修正された。

### イ 交通違反に関する簡易裁判導入動向（青島市）

青島市では 2022 年 9 月、市南区人民法院、同検察院、市公安局交通警察支隊市南大隊が協力して交通警察部門に初の刑事即決裁判所を発足させ、4 か月で 30 件

以上の危険運転事件を処理している。道交法上、血中アルコール濃度 80mg/100ml を超えれば飲酒運転となり、危険運転罪により刑事責任を追及される。法手続きは厳格で、病院に行って採血、詳細な供述調書を作成、交通検察院に移動、起訴状を作成、判決となり、当事者が罪を認めていても手続きは変わらない。即決手続きでは、争いがなく当事者が罪を認めている危険運転罪について、裁判所の調べや弁論を省略でき、15分以内の判決も可能である。近年、青島市の主要地区における飲酒運転は減少しているが、2022年に法院が結審した刑事事件のうち、28.9%が危険運転罪であり、市南区では160件で30%を超えている。

### ウ 済南市 12 路線で違法駐車通報制度を試行（済南市）

済南市交通警察は 3 月 16 日、「秩序管理公衆参加プラットフォーム」を発表した。市民は、違法駐車が発生する 12 の路線で、微信の QRコードをスキャンすることで、午前 7 時から午後 9 時までの間、違法駐車を通報することが可能となる。12 の路線上には、QRコード付きの標識が設置され、市民は違法駐車を発見次第すぐにこれを使用し、写真を撮って通報する。交通警察部門は、同プラットフォームの目的が処罰ではなく、“社会監督”を通じて文明的な駐車習慣を養成することにあるとしている。